

# 一宮町揺れやすさマップ

揺れやすさマップは、各地点で同じ強さの地震動が伝わってきた時、相対的に揺れやすさを図化したものです。  
マグニチュードや震源からの距離が同じであっても、「地盤の柔らかい場所」では地盤の硬い場所に比べて「揺れ」が強くなり、震度が大きくなるので要注意です。  
地震の波は、固い地盤を伝わり表層のやわらかい地盤に入ったときに増幅されるため、地震の「揺れ」である震度が大きくなります。そのため、震源から遠くても、軟弱な地盤のところでは建物の倒壊などの被害が多くなります。

### 地震に対する備え

#### 家族で話し合っておく

- 普段から各自の役割分担を決めておく。
- 安否確認の方法や集合場所などを決めておく。
- 避難経路や避難場所を確認しておく。

#### 家屋や塀の耐震化

- 自宅の耐震診断を受け、必要な耐震補強をしておく。
- ブロック塀やコンクリート塀などを補強しておく。

#### 家の中の事故を防ぐ

- 家具類を壁や天井に固定し、倒れないようにする。
- タンスなどの高い場所には、重い物を置かないようにする。
- 寝室には、なるべく家具を置かないようにする。
- 二階建ての家屋では、なるべく二階に寝るようにする。

#### 消火の備えをしておく

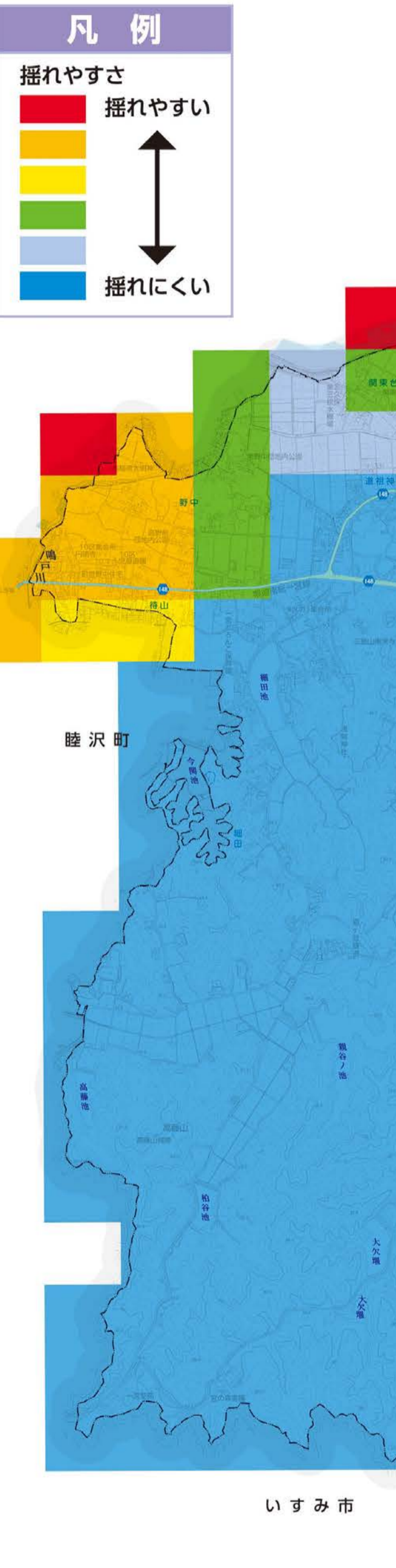
- 消火器や消火用水を使いやすい場所に備え付けておく。
- 風呂桶に水を満たしておきましょう。

#### 非常持出品の準備

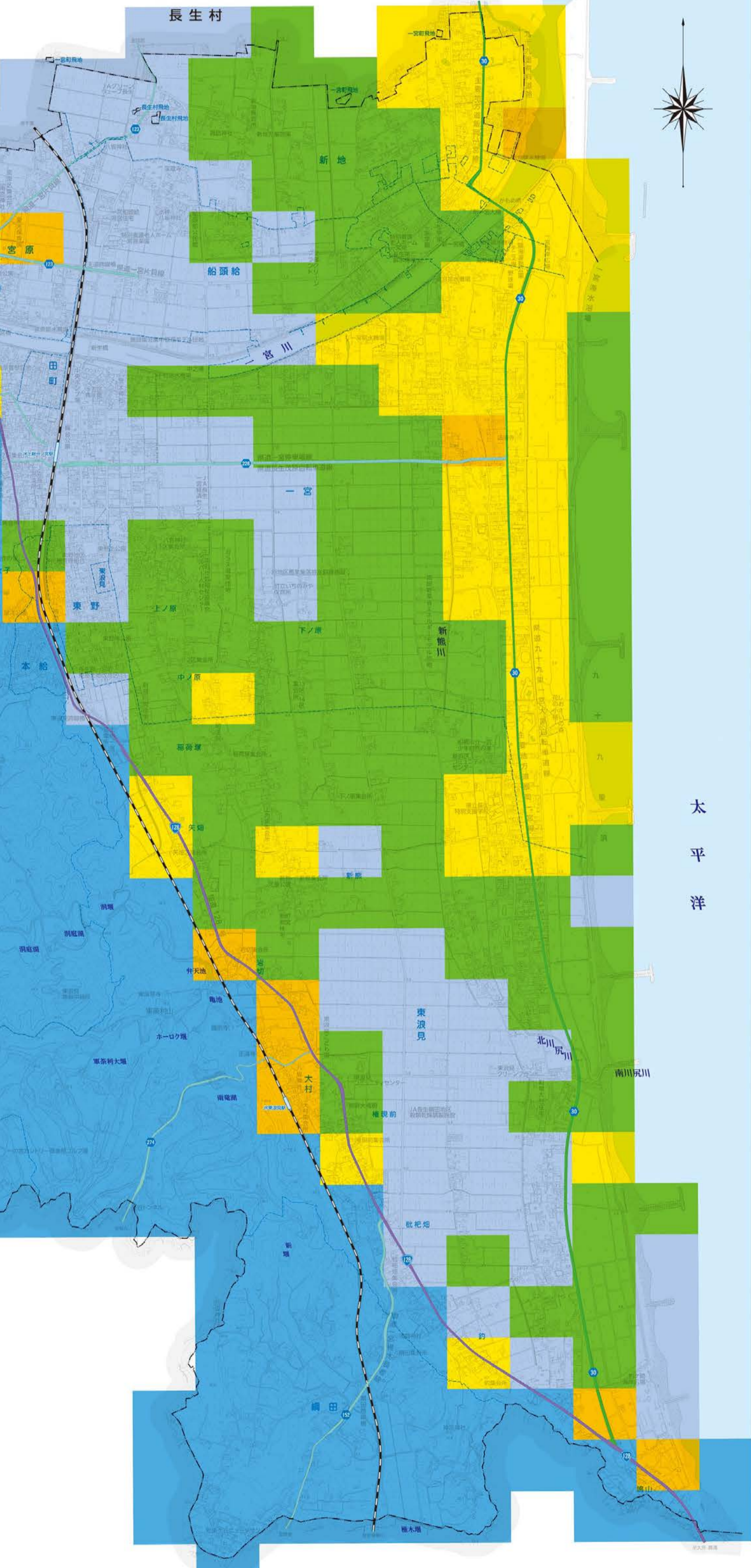
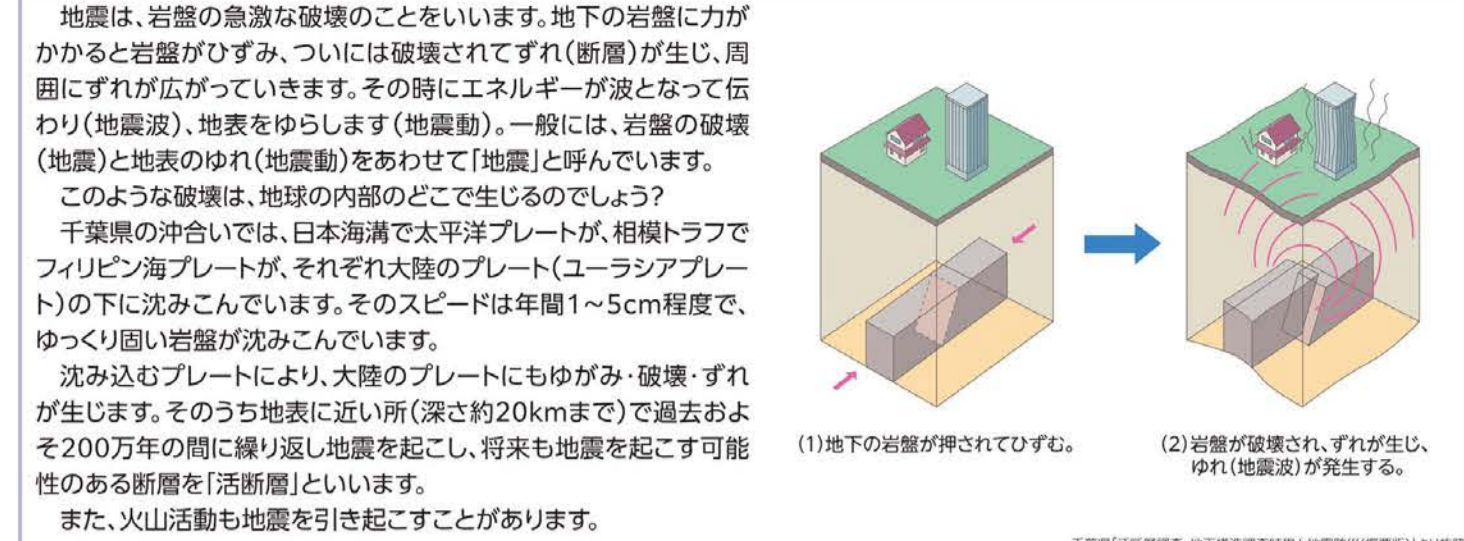
<input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳
<input type="checkbox"/> 非常食・乳児のミルク	<input type="checkbox"/> 連絡先
<input type="checkbox"/> スマートフォンの予備バッテリー	<input type="checkbox"/> 現金・通帳・印鑑・身分証明書
<input type="checkbox"/> 家中の鍵	<input type="checkbox"/> 衛生用品
<input type="checkbox"/> 携帯型ラジオ	<input type="checkbox"/> 雨具
<input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ずきん	<input type="checkbox"/> おむつ・介護用品

#### 防災知識の習得・地域とつながる

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につける。
- 地域の防災訓練などに積極的に参加する。
- 日頃から挨拶をするなど、近所づきあいをしておく。



## 地震発生メカニズム



### 長周期地震動について

大きな地震で生じる、周期(揺れが1往復するのにかかる時間)が長い大きな揺れのことを長周期地震動といいます。長周期地震動により、高層ビルは大きく長時間揺れ続けることがあります。また、長周期地震動は速くまで伝わりやすい性質が長く、地震が発生した場所から数百km離れたところでも大きく揺れることがあります。

# 一宮町液状化しやすさマップ

液状化しやすさマップとは、震度(6強)に対応して液状化しやすさを250mメッシュで図化したものです。  
東日本大震災や南海トラフ沿いの地震のような2分から3分程度の長い時間継続する揺れを想定した「超巨大地震」を想定して作成しました。

### 地震が起きたら

あわてず身の安全を確保しよう!

- ゆれを感じたら、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先にする。
- 机の下にもぐる、毛布をかぶる、頭をかかえておくなど、状況に合わせて身を守り、ゆれが収まるのを待つ。
- 屋外では、ビルからの落下物、ブロック塀などの倒壊、切れた電線などに注意する。

### 落ちて着いて火の始末

- ガス器具やストーブなどの火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてず火の始末をする。
- 出火したときは、落ちて着いて消火しましょう。

### 脱出口の確保・避難の準備

- 落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 窓や戸を開け脱出口を確保する。
- 靴を履き、非常持出品を手近に用意する。
- 町、消防署、ラジオやテレビなどで正確な情報を確認する。

### あわてて外に飛び出さない

- 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。
- 冷静に状況を判断しましょう。

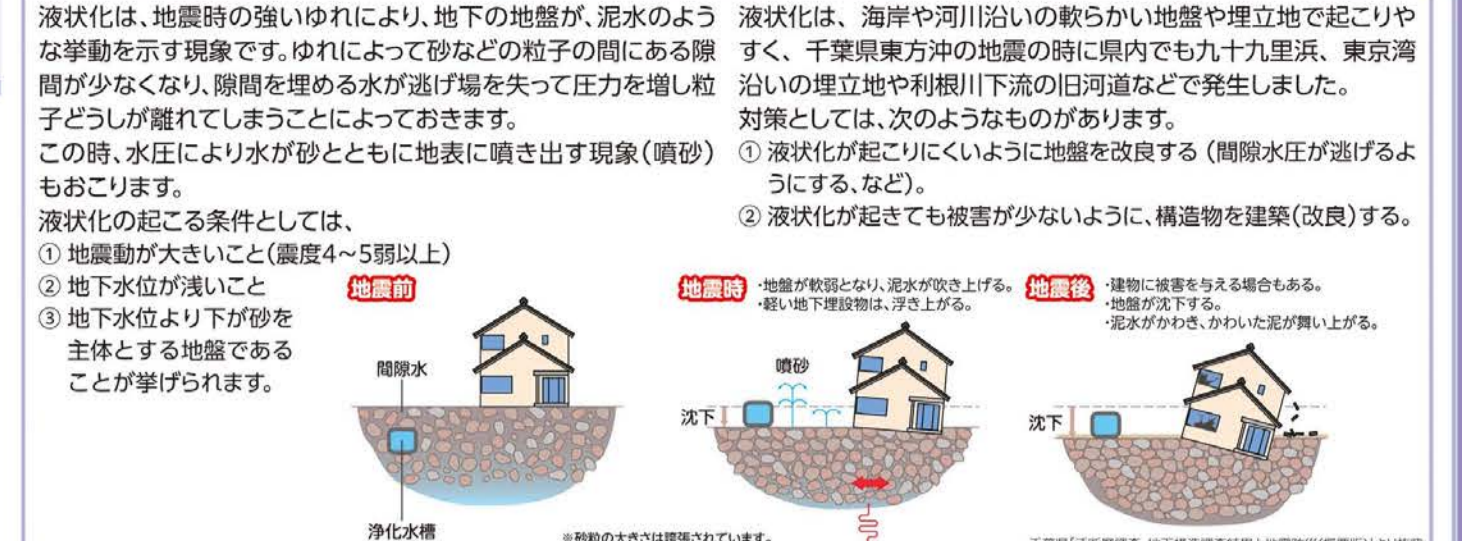
### 確かな避難

- 家が家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。
- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を隣近所で協力しあい、救出・救援する。
- 要配慮者やけが人などに声をかけ、皆で助け合いましょう。

### 協力しあって救出活動・応急救援

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。
- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を隣近所で協力しあい、救出・救援する。
- 要配慮者やけが人などに声をかけ、皆で助け合いましょう。

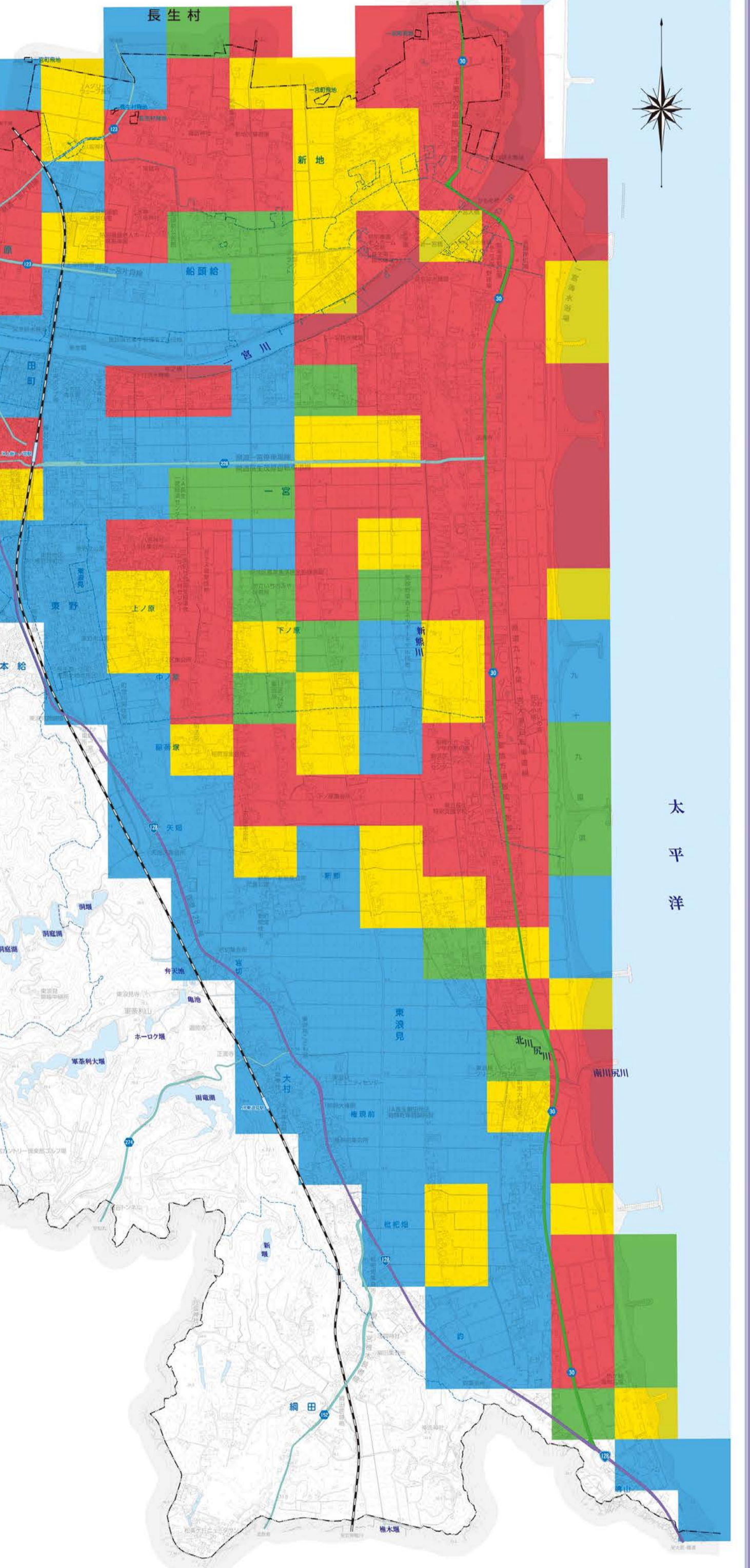
## 液状化の現象としくみ



## 千葉県周辺の主要活断層帯と海溝で起こる地震

千葉県に被害を及ぼす地震は、主に、相模湾から房総半島南東沖にかけてのプレート境界付近で発生する地震、関東地方沖合のプレート境界付近で発生する地震、と、隣接の様々な深さの場所で発生する地震です。

地震	マグニチュード	地震発生確率(30年以内)	
<b>海溝型地震</b>			
超巨大地震(東北地方太平洋沖型)	9.0程度	ほぼ0%	
福島県沖	7.0~7.5程度	50%程度	
茨城県沖	7.0~7.5程度	80%程度	
青森県東方沖から房総沖にかけての海溝寄り	8.6~9.0	30%程度	
沈み込んだプレート内の地震	7.0~7.5程度	60%~70%	
房総沖	不明	不明	
相模 相模トラフ沿いのM8クラスの地震	8クラス(7.9~8.6)	ほぼ0%~6%	
トラフ プレーートの沈み込みに伴うM7程度の地震	7程度(6.7~7.3)	70%程度	
南海トラフ 南海トラフで発生する地震	8~9クラス	70%~80%	
<b>内陸の活断層で発生する地震</b>			
深谷断層帯・綾瀬川断層(関東平野北西縁断層)	7.9程度	ほぼ0%~0.1%	
綾瀬川断層(鴻巣-伊奈区間)	7.0程度	ほぼ0%	
元荒川断層帯	7.0程度	不明	
立川断層帯	7.4程度	ほぼ0.5%~2%	
鴨川低地断層帯	7.2程度以上	不明	
三浦半島断層群	主部(衣笠-北武断層帯)	6.7程度もしくはそれ以上	ほぼ0%~3%
	主部(武山断層帯)	6.6程度もしくはそれ以上	6%~11%
	南部	6.1程度もしくはそれ以上	不明



### 災害用伝言サービス

#### 災害用伝言ダイヤル171

伝言方法	伝言番号
171→1→電話番号	171→2→電話番号

#### 災害用伝言板 web171

https://www.web171.jp/ にアクセスして、電話番号を入力して、伝言を送ります。  
https://www.web171.jp/ac/ にアクセスして、電話番号を入力して、伝言を送ります。